

7月10日(火) 神保町にて出版社経営相談セミナー 開催

激変時代、出版事業を継続させる選択肢とは？ ～ 出版社の経営課題と事業承継を考える ～

日時：2018年7月10日(火) 16:00～17:30 会場：文化産業信用組合 (神保町101ビル)
主催：文化産業信用組合／(株)文化通信社

<プログラム内容>

- 「出版業界動向～いま起きている構造変化」 (株)文化通信社 専務取締役 星野 渉
- 「激動期を乗り越えるために、出版社はどのように金融機関を活用したらよいのか？」
文化産業信用組合 理事長 秋元 康男
- 「出版社が直面する経営課題とその対応策」 (一社)日本書籍出版協会 専務理事 中町 英樹

企業の規模や経営形態にかかわらず、事業の承継はあらゆる会社にとって大きな課題です。特に出版業界は戦後続いてきたエコシステムが大きな転換を迫られ、出版社も従来通りのやり方で事業を継続できるのかどうか不透明になっています。デジタル化の進展、人々の指向の多様化など、これから予想されるさらなる変化を想定すると、他企業との協業や提携、経営統合、事業譲渡なども、事業を継続するために必要な選択肢になってくると思われます。こうした変化のなかで柔軟に対応していくためには、多様な事業承継の方法を知り、実践していくことが求められます。そこで、出版業界で事業承継のサポート事業を手掛ける3者によるセミナーを開催します。

講師は、会員の事業承継問題などに対応すべく経営相談室を開設した日本書籍出版協会専務理事の中町英樹氏、出版業界の金融機関として日本政策金融公庫東京支店などと連携して出版及びその関連産業の事業承継サポート事業を開始した文化産業信用組合の秋元康男理事長、長年出版業界の変化を見続けてきた専門紙文化通信の星野渉編集長が務め、これからの出版業界の変化、出版社が直面している経営課題、金融機関の活用の仕方などについて解説します。

※お問い合わせは、当組 本部 事業戦略部へお電話ください TEL 3292-8281